

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Harmony山形			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～	2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25家庭	(回答者数)	17家庭
○従業者評価実施期間	2025年 12月 17日		～	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 16日			
○ 分析結果				
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	年齢層がまとまっていないため、同学年同士のやり取りだけではなく年上や年下との関わり方を学ぶ機会がある。	活動提供のグループ分けを行う際に、学年を年上や年下関係無く組み分け、お互いに関われる環境を作っている。		学生同士だけでなく、目上の人への関わり方（敬語や場面に合わせた話し方など）も少しずつ学べる機会の提供を行う。
2	児童遊戯施設や図書館、外食体験時のレストラン等、公共の場での活動提供が多い。	毎月の活動を考える際は必ず公共の場に出かける機会を設けるようにし、活動ごとにどういったことを意識してもらいたいのかを利用者にお伝えしている。		金曜日に提供しているおみせやさん活動にて、店員さんとのやり取りや状況に応じての過ごし方を練習出来る機会を提供していく。
3				
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	状況によってはスペースの狭さを感じられる。	・一般住宅の間取りとなっているため、利用人数や活動、過ごし方によっては狭く感じられる。 ・家具の配置によって狭く感じることもある。		・活動提供の際はグループ分けを行い、少人数・少スペースで活動出来るよう継続して工夫していく。 ・活動外も過ごし方によって場所を分け、スペースの狭さを補っていく。
2	保護者様同士の連携を図る場が少ない。	普段の活動提供にのみ注力してしまい、保護者参加型の活動を企画出来ていなかったため。		保護者様を招待しての活動を企画していく。(年1～2回程度、祝日や土曜日等)
3				

保護者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony山形

配布：25枚 回収：17枚 回収率：68%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	6			17	・近所に公園や広場等が無い ため、施設内での活動になっている ので、活動が制限される。	貴重なご意見ありがとうございます。 山形で週2回行っている運動活動は 曜日によっては活動の目的が異な っており、火曜日は公園や外部施設 (コパル)での体全身を使った運動 遊びを提供し、木曜日は事業所内 で体幹や指先などの体の使い方を学 ぶような身体機能の一部の向上を 目的とした運動活動を提供させて いただいております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3	1		17		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4	1		17	・階段が急な感じ	貴重なご意見ありがとうございます。 階段が急であることから、2階部 分には転落防止柵を設置してあり ます。また、手すりも階段部に設 置しご利用者の安全に配慮してあ りますので、今後とも安心してご 利用いただければと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画ⅰが作成されているか	17				17		
	5	活動プログラムⅱが固定化しないよう工夫されているか	13	4			17		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	7	2		17		公園遊びや児童遊戯施設コパル で活動を行っている際に、そこを 利用している障害の無いお子様と 一緒に遊んだりすることで関わり を持つことが出来ておりました。 現在は曜日限定での接点となっ ているため、今後はニーズを確認 しつつ他曜日の方でも接点を持 てるような機会を提供出来ない か検討してまいります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1			17		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2			17	・スタッフが入れ替わることが 度々あり、やや共通理解の面には 欠ける所があった	貴重なご意見ありがとうございます。 スタッフの異動に際して、支援に 対し不安を感じてしまうような 対応となってしまう申し訳ござい ません。今後もスタッフの異動に 関しては出てまいりますので、お 子様一人ひとりの支援方法等につ いてより一層入念に共有・引継ぎ を行ってまいります。引き続きご 愛顧のほどよろしくお願いいたします。
保護 者 へ の 説 明 等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1			17		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	8	1	17		昨年度行った夏祭りの企画等、 保護者様同士が事業所で交流出 来る機会を提供出来ず申し訳ござ いけません。今後は事業所に保護 者様を招待し参加していただく ようなイベントを企画してまい りますので、ご都合が合う際に はぜひ参加していただき、ご自 身のお子様の成長された姿を見 る機会だけでなく保護者様同士 が交流出来る機会としても活用 していただければと思います。

事業者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony山形

配布：6枚 回収：6枚 回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	合計	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3			6	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	1		6	活動提供時にグループ分けを行い、少人数でも支援出来るよう工夫したり、送迎時に同じ学校にお迎えに行く同一法人内の別事業所に依頼するなどして対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3			6	事業所内に階段があるが、転落防止柵や手すりを設置することで危険が無いよう工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1			6	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				6	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				6	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1		6	現在、第三者評価を行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1			6	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				6	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				6	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				6	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1			6	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6				6	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				6	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				6	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				6	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				6	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				6	
関係 機関	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6				6	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				6	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6				6	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	1		6	現在、医療的ケア児の利用が無い状況。利用が始まる際には必要に応じて体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1			6	必要があると思われる児童がいる際は、相談支援事業所と連携し情報共有の場を設けている。

や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6				6	必要があると思われる児童がいる際は、相談支援事業所と連携し情報共有の場を設けている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6				6	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1		6	公園や児童遊戯施設で活動を行っており、その時に障害の無いお子様とも関わりを持つことが出来ている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	2			6	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				6	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2			6	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				6	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1			6	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2		6	今年度は保護者様参加型の活動を企画出来ておらず、保護者様同士が連携出来る場を提供出来ていないため、今後は年1～2回程度企画していき交流の場を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				6	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				6	
	35	個人情報に十分注意しているか	5	1			6	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				6	
非 常 時 等 の 対 応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	1		6	今年度は地域の防災センターとの交流以外で地域住民との交流の機会が設けられていないため、こちらも保護者様と同様に年1～2回程度機会を設けていく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6				6	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				6	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				6	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				6	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6				6	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1			6	事業所内にヒヤリハットや事故報告をまとめたファイルを準備し、職員内で目を通すことが出来る状態となっている。